

Sharing Nature Life

自然に
暮らす

遊んで、
学んで、
楽しんで!

シェアリングネイチャーライフ

2016
VOL.

12



農作業は シェアリング ネイチャー

「食べる」で渡る
命のバトン

<http://www.naturegame.or.jp/>



【特集】

農作業はシェアリングネイチャー...「食べる」で渡る命のバトン

「食べる」で渡る
命のバトン

畑で自然を

わかちあおう

神奈川県相模原市。都心から車で1時間あまり。住宅地と畑や雑木林が交差する、のどかさの残る地域。その一角に、井上満さんがネイチャーゲームリーダーたちに農業にまつわる講義と農作業の指導を行う「イノッチファーム」があります。そのみごとな収穫に惹かれ、畑の作業を見に行きました。



畑の自然案内人
【にわか百姓】
井上 満さん

小学校教員退職後、シェアリングネイチャー活動の軸に農作業を置き「食と命の繋がり」を追究するネイチャーゲームトレーナー。日本シェアリングネイチャー協会常務理事。

インタビュー/編集部・伊東久枝
文/伊東久枝

『野菜をつくる』ってよくいうけど、人間なんて何もつくっていないんだよね。できるのは、野菜が自ら育つのを手助けすることぐらいでしょ」

丸まると太った大根や、芋類を掘り起こして畑を回ったあと、井上さんの口から何気なく出る言葉。それらは普段忘れ

てしまっているけれど、大切な話です。

生物が生きていくために不可欠な、炭水化物（糖類）やタンパク質などの有機物。体内でエネルギーに変換されるこれらの有機物をつくれるのは、じつは植物だけです。植物が光合成で水と二酸化炭素からつくる有機物を得るために、草食動物は草を食み、肉食動物は植物を食べた草食動物を食べる。雑食動物の人間も、

自然をまるかじり

No.12

裸足



土、草原、芝生、苔石、砂利、コンクリート……。いろいろな地面があるけれど触れていちばん気持ちがいいのはどれだろう...

靴を脱いで裸足で地面を歩いてみる。

ゆっくり、ゆっくりと足の裏の感触を楽しみながら。今日のお気に入りの「地面」を探しに行こう。

「シェアリングネイチャー」それは、人が自然を尊重し、共生していく社会のキーワード。公益社団法人日本シェアリングネイチャー協会は、自然と遊び、自然から学ぶよろこびにあふれた生活をおくる人の輪を広げる活動を行っています。

Sharing Nature Life

シェアリングネイチャーライフ

2016 VOL. 12 3月号 春

contents

自然をまるかじり.....	2
特集 ●農作業はシェアリングネイチャー.....	3
イベントレポート.....	7
被災地復興支援情報.....	7
News.....	7
自然が先生! ●海底が山脈に?! 循環する大地.....	8
ネイチャーゲームで体験しよう! (ジグソーストーン).....	8
SNLな仲間たち ●埼玉県...大木道雄.....	10
プレゼント.....	10
ジョセフ・コーネルの課外授業 ●受動的でいよう.....	11
四角友里 ●なんにもしないアウトドア.....	12

編集後記

今年は「ネイチャーゲーム普及30周年」の記念すべき年。9月末から10月初旬にかけて、ネイチャーゲームの創始者ジョセフ・コーネル氏が来日し、ワークショップやシンポジウムを開催します。本誌の読者や当協会会員の皆さま、より多くの方に来ていただけるよう、いまから企画を練っています。次号で詳しいスケジュールをお知らせします。どうぞお楽しみに! (佐々木)

同じように野菜をはじめとする植物や肉や魚を食べ、炭水化物やタンパク質を得ている…。そんな昔学校で勉強したことが、イノッチファームで育つ瑞々しい野菜や、それらに集まる生きものの姿・痕跡を見ながら聞くと、心の芯にぐっと響いてきます。

イノッチファームの参加者たちも「畑仕事だけでも楽しいけど、井上さんの講義があるからより充実した時間になっているんだと思う」と口ぐちに…。

作業の合間にも昼食の時間にも、参加者自身が見つけた新聞記事や本を見せ、遺伝子組み換え作物や食品添加物など、さまざまな話題が交わされています。

「そう言いつつ市販のお菓子は食べますけどね。でも10回が8回になったかなあ(笑)」「すべての食べものをオーガニックにはできないなあ、高いしね」などと、深刻な話題を話しつつも、表情はみんな明るく、それぞれのペースで新たな情報を受け入れているようです。

井上さんも「一気に変わらなくてもいいと思うんです。でも知らないのと知っているのは大違い。知っていれば、それらにまつわる新たな情報に意識が向く。そしていつしか日々の行動が少しずつ変わっていくはずですよ」といいます。

食のことを「自然」という観点で見られるようになれば、きっと変わると。井上さんが企画した「農作業でシェアリングネイチャー」のプログラムは1年

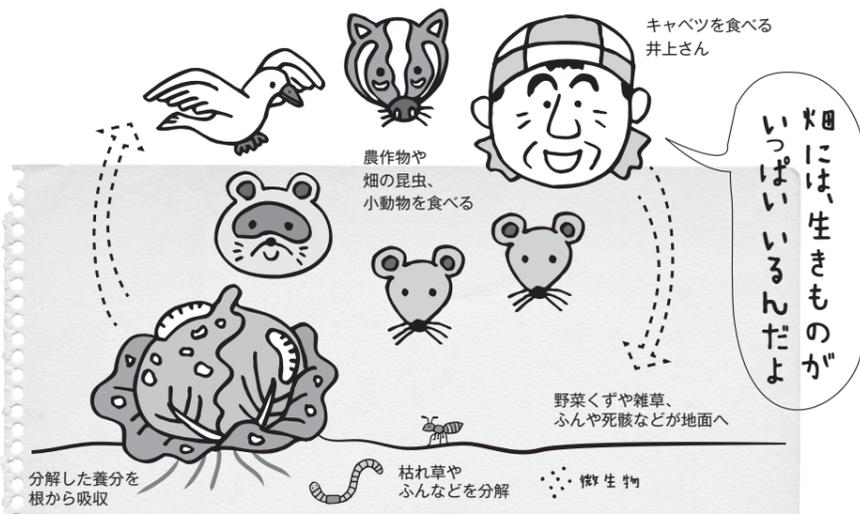
間。ひとり1区画6〜7坪程の畑を借り、そこに思い思いの野菜を育て、月に1回集まって講義と農作業を行うというもの。もちろん農作物の世話は月に1回では間に合わないで、参加者はそれぞれの都合に合わせて畑に通い、草取りや収穫を行って来ました。

いちばん大変だったのは夏場の草取り。1週間ぶりに畑に来たら、作物がどれかわからないほど草が繁っていたことがありました。そうして一生懸命育てていたら、作物の芽を抜いて雑草を育てていたという失敗談も。また、日照り続きのあとに雨が降ったとき「親子で『ばんざーい!』と声を上げた」ことも。今では参加者それぞれの楽しい思い出です。

「自然」は命をつなぐ「食」を生産する場

イノッチファームの作物はすべて無農薬。化学肥料もほとんど使わずに作物を育てました。

「夏の雑草のあまりの勢いに音を上げて、じつはばくも除草剤を買ったことがあるんですよ。でもやっぱり使えなかった…」とは、井上さん。「自然は、命をつなぐ食べものを生産する場」としても不可欠なものです。それは他の生きものにとっても同じこと。人間だけの「持続的な社会」など、ありえないでしょ。生態系という大きなつな



畑には、生きものがいっぱいいるんだよ

畑の生態系

LECTURE 3

野菜くずや抜いた雑草を積んでおくといつの間にか分解されています。これは微生物やミミズ、ダンゴムシ、ダニ、アリなど、「分解者」といわれる土壌生物が動物の死骸やフンなどとともに土に戻しているからです。こうして再生された養分を野菜が栄養として吸収し、その野菜を虫や小動物が食べ、それらを鳥より大きな動物が食べ…と食物連鎖が生まれます。

アオムシ、クモ、カタツムリ、アブラムシ、テントウムシ、ハチ、チョウ、アブ、アリ、ナメクジ、バッタ、コオロギ、カラス、スズメ、モズ、ハト、キジ、ハクビシン、ネズミ…。狭い畑にも驚くほどの生きものがやってきて、そこで日夜繰り広げられる命のやりとり。それを実感するのも農作業の醍醐味です。そしてその「環」には野菜を食べる自分自身も入っています。



農薬の話

LECTURE 2

最近の農薬は、人体に影響が出るようなものは少なくなっています。でも畑に撒けば、虫も微生物も死ぬ。農薬を使う農家は、いつてみれば「無菌状態の土壌(生きもの)のない畑」をつくって、そこに化学肥料を入れて作物をつくる。工業製品のような

もの。一方、無農薬作物は野菜自ら外敵と戦い自然のリズムで大きくなるので、小さくても味は濃く、野菜本来の味がします。ただし、現状では農薬を全否定すると、農産物の収穫量が減って人口分の食料確保ができなくなるという現実もあります。まずは「旬の食べもの」を食べましょう。旬の時期はその植物がいちばんよく育つとき。余計な栄養や農薬がいらないのです。

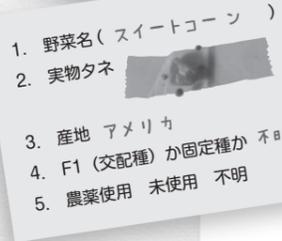
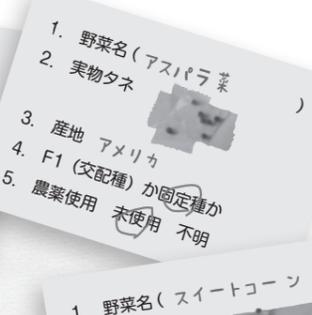
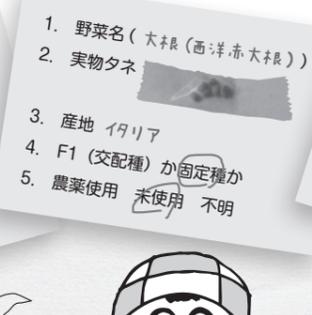
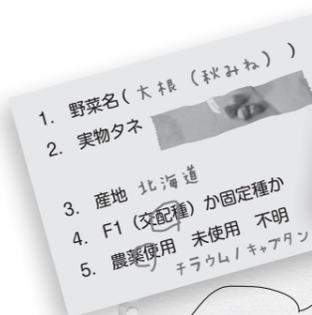
まるで工場だね



タネの話

LECTURE 1

みなさんが食べている野菜のタネ、どこで採れたものか知っていますか? 市販されているタネの袋を見ると採取地が書いてあります。その多くが外国産! なぜ国産のタネが少ないのか? それは現在、多くの農家が種苗メーカーが開発した「収穫量が多く品質が均一」になるように交配されたタネ(F1種)を買って作物を育てているからです。じつはこのF1種、タネをとって撒いても、親と同じような作物ができなかったり、発芽しないものも多く、毎回タネを買わないと農薬がでなくなっています。なかには、決められた農薬を使わないとよく育たないものもあります。この状況が進んだ将来、もしメーカーがタネを売らなくなったら、日本の農業はどうなるのか? これを危惧した人たちが在来種の「自家採種」を呼びかけています。



外国産のタネが多い理由知ってる?



自然は、すべての生きものが命をつなぐ、食べものをつくる場所



がりのなかで、地球上の生きものすべてが微妙なバランスで生きています。それは人間界の外側にあるのではなく、人間もそのなかにいるんです」

そう考えるとき、他の生きものすべて殺して作物をつくるという農業が、井上さんにはできないのです。

「虫がたべても、土や野菜が元気なら、全部食べ尽されることはまずないんです。虫も成長に合わせて食べる時期は限られていますから。だったら、虫にも少しお裾分けをしてもいいよね

「命のバトンタッチ」というと、子孫を残す遺伝子のバトンを考えがちです。でも「排泄物などで行うバトンタッチもある」と、井上さんは考えます。

生きるということは、他の命を「いただいて」エネルギーとして利用したあと、排泄して自然に戻す。誰かの排泄物は誰かの食事で、死ねば身体そのものも誰かの食事に、命になっていくのだと。



収穫を喜ぶプログラム参加者たちと。

「命」を食べる！

「そう考えれば、ぼくは泣きながらでも動物を撃てるし、さげると思うんです。だけど、今、人は土に戻ることさえできないでしょ。糞尿も下水処理されちゃうし…。人間は自然から搾取するだけで、何も返せない。ぼくは死んだら鳥葬にしてほしいと思うんだよね。ぼくの命が終わっても、食べた鳥になってあちこちに飛んで行くと思ったら素敵だよなえ」

自然とは命であり、命を育む環境なのだという井上さん。「農作業」と「シェアリングネイチャー」というと、つながりがある日、鍋の具になっていたり、海で捕った魚が夕食に出たり…」

「今は命を直視するところがないでしょ。日本でも少し前までは「命を食べる」ということが見えていたよね。庭のニワトリがある日、鍋の具になっていたり、海で捕った魚が夕食に出たり…」



落花生は、土の中に実を隠す変わった植物！

本来生きものは「食の確保が一番にある」と、井上さん。他の生きものはほとんどの時間を、食べものを得ることに費やしているのだと。そして人間の歴史も同じように、長い間飢えとの戦いを続け、日本で『飽食の時代』などといわれ、食を粗末に扱うようになったのは最近のことなのです。

イノッチファームの1年間の体験を通して「今までと違うルートで自然を感じている」という参加者たち。新たに、家庭菜園を借りて自分の力で野菜作りを継続しようという人も多く、井上さんの思いは、確実につながっているように見えました。

命のわかちあい！
井上 満

私のシェアリングネイチャー

Event Report 1
富士青木ヶ原樹海と火山荒原探検

2015/11/7 新村悦子(栃木県)

目の前の風景に瞬息をのむ。長い年月をかけて大溶岩台地を緑の海に変えた青木ヶ原樹海。秋の美しい自然とゆつくり向かい合う時間のなかで、「はっぱちゃん集まれ」を体験。そして一転、中宝永山の噴火により多量の火山灰が積もった一面砂礫の火山荒原を歩く。そのなかで懸命に生命をつなごうと、深く根を張り綿毛を飛ばすアザミ、いまだ感動が消えません！



Event Report 2
野鳥観察と鳥のクラフト鳥セミナー

2015/1/24 前田久留美(静岡県)

カモに尾羽が上向きものと同向きもの2種類がいる理由や、それらが混群をしている理由などを実際に鳥の観察をしながら聴いた「野鳥観察」。その後、実際に観たキンクロハジロ、ハクセキレイ、メジロをクラフトで作りました。するとそれぞれの鳥の特徴が印象に残り、再び野鳥を観に行くと、見分けることができてびっくり。野鳥の細かい特徴を知り、野鳥への興味が増しました。



被災地復興支援情報
つなごろうニッポン! 2011 NATURE GAME



東日本大震災から5年大槌の現状

白澤良(岩手県)

避難生活の長期化、再建計画に対する住民と役所の意見相違、経済の冷え込み、止まらない人口流出…。そのようななか、地域に残っている人の中には、震災で仕事を失った人も多く、とくに高齢者や障害者、子どもを抱える世帯に仕事をつくるのが、現在大きな課題となっています。しかし最近では、被災者同士で開業した「弁当屋さん」、仮設住宅入居者に布製の小物作りを委託している「まごころネット」の活動、特産のクレンソウを使った調味料作りなど、新たな動きも生まれています。



全国銘菓お茶っ広場開催中!

被災地の仮設住宅にお住まいの方々のコミュニティ支援を続けています。あなたの地元銘菓を被災地に送ってください。実施日 ●大槌: 4/17(日)、5/15(日)、6/19(日)、7/24(日) ●雄勝: 調整中 詳しくは↓ http://www.naturegame.or.jp/about_us/action/ochakko/

News

専門委員会開催報告

- 指導者養成委員会—12月14日(月)
 - ・材認定事業検定員配置基準の検討
 - ・各部会の進捗確認
 - ・インストラクター認定二次審査
 - ・グラントレーナーの認定 他
- アクティビティ開発認定委員会—12月22日(火)
 - ・新ネイチャーゲーム第三次審査
- シェアリングネイチャー普及委員会—1月22日(金)
 - ・SNと異分野とのコラボイベントの検討
 - ・SNサイト応募状況の確認と検討
 - ・見本市セット貸出内容の報告と検討
- 中期経営計画推進委員会—10月13日(火)
 - ・平成27年度の進捗状況と答申案の作成

受付中! 第26回全国ネイチャーゲーム研究大会in北海道2016

- テーマ: 北の大地のめぐみと自然との共生
- 日程: 2016年6月3日(金)~5日(日)2泊3日
- 会場: ホテルマウントレースイ JR北海道石勝線「夕張駅」徒歩1分
- お申し込み: kenkyutai@naturegame.or.jp [お名前・会員番号・メールアドレス・日中連絡先]をお知らせください。本誌 P.10 に関連広告があります。

●その他の議案

- ・平成28年度事業計画
- ・平成28年度の専門委員会委員の委嘱
- ・平成28年度スポーツ振興くじ助成金交付申請
- ・マイナンバー関連規程等の作成と修正
- ・常務理事の追加・新常務理事 田中蒼人
- ・地域実践団体の設立と解散
- 設立・十勝シェアリングネイチャーの会(北海道)
 - ・ふじみ野シェアリングネイチャーの会(埼玉県)
 - ・浜松ひよっ子シェアリングネイチャーの会(静岡県)
 - ・くまもとシェアリングネイチャーの会(熊本県)
- 解散・浜金剛・葛城ネイチャーゲームの会(大阪府)
- ・かのやシェアリングネイチャーの会(鹿児島県)
- ・鹿児島市シェアリングネイチャーの会(鹿児島県)

助成金活用状況の報告

平成27年度はスポーツ振興くじの助成を受け、下記の事業に取り組みました。
●ネイチャーゲームセミナーの開催(全46会場予定)
●広報ツール(情報誌「シェアリングネイチャーライフvol.9~12」/大学・専門学校普及パンフ/親向け普及チラシ/活動支援冊子)の作成と配布

日本協会理事会報告

平成27年度第2回理事会が開催され、以下の議案が承認されました。
●平成28年度正味財産増減予算(単位:千円)

I 一般正味財産増減の部	
1 経常増減の部	
(1) 経常収益	
① 基本財産運用益	2
② 受取入会金	570
③ 受取会費	33,764
④ 事業収益	78,946
⑤ 受取補助金等	4,418
⑥ 受取寄付金	200
⑦ 受取負担金	0
⑧ 雑収益	5
経常収益計	117,905
(2) 経常費用	
① 事業費	110,979
② 管理費	8,726
経常費用計	119,705
当期経常増減額	△1,800
2 経常外増減の部	
(1) 経常外収益	
	0
(2) 経常外費用	
	0
当期経常外増減額	0
当期一般正味財産増減額	0
一般正味財産期首残高	61,792
一般正味財産期末残高	59,992
II 指定正味財産増減の部	
当期指定正味財産増減額	
	0
指定正味財産期首残高	0
指定正味財産期末残高	0
III 正味財産期末残高	
	59,992

海底が山脈に?! 循環する大地

蒸発した海の水が雲となり
大地を潤し、再び海に還る。水の循環は
多くの人が知るところです。
では、大地の循環は、どうでしょう。



日置光久 (ひおき みつひさ)・監修
東京大学大学院教育学研究科特任教授。広島大学大学院にて理科教育学、自然体験・メディア論、科学哲学等を学ぶ。広島女子大学助教授、文部科学省教科調査官・視学官を経て、現職となる。日本シニアリングネイチャー協会理事。

イラスト/井上みさお
構成・文/伊東久枝

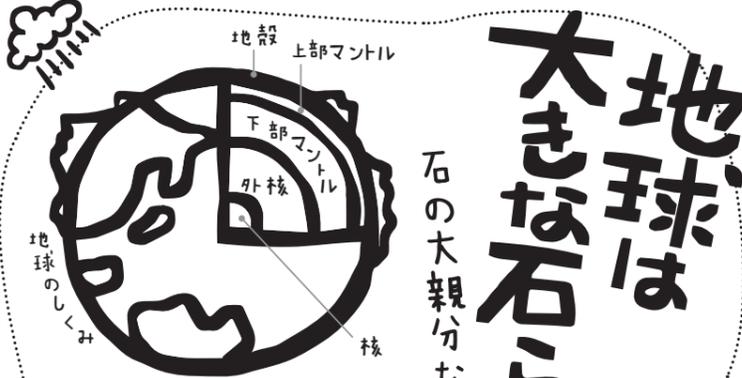
小石を
のぞいてみれば
遥か彼方の
山のかげら

海岸や河原の石や砂を拡大鏡で見
たことがあるでしょうか。白や灰色
に見えていた石や砂が、拡大すると
多様な色の集合体であることがわか
ります。それは多くの場合、海岸や川
に続く山の一部です。土地の成り立
ちにより、元になる岩石などが異な
るため石や砂の色は多種多様。そこ
には大地の歴史が内包されています。

では小石や砂は山となる前、どん
な歴史を歩んで来たのでしょうか。
日本は、4枚の「プレート」がせ
めぎ合うという世界でも稀な地盤の
上にあり、そのため地震・土砂崩れ・
津波などの大きな災害に襲われるこ
とも少なくありません。

プレートは日本の下で少しずつ地
球の内側へ向かって沈み込み、その
反動で地震が発生し、大地が隆起し
ます。その沈み込んだプレートの影
響で地下の岩石が溶かされ、マグマ
が形成されて火山噴火が起きる。そ
うして生まれた急峻な山が雨を呼び、
雨が大地をえぐって石をつくり、栄
養分の多い土砂を海へと運ぶ…。
これら大地の躍動は、たびたび私
たちに堪え難い悲しみを与えます。
しかしこの動きによって、地球内部
に蓄えられた養分は地表に流出し、
水の手で森や平地に行き渡り、緑豊
かな山を、豊潤な耕作地をつくって
きました。また、砂のなかにはサン
ゴ礁などでみられるように、
生物に由来するものもあり
ます。石や砂はそんな「循
環」の語り部なのです。

お見通し！



地球は
大きな石ころ！
石の大親分なのさ

火山活動でできる「大地」は複数のプレ
ートで構成される「地殻」といわれる部分で、
軽い岩石でできている。「マントル」は重
い岩石。「核」は鉄やニッケル。そしてす
べてが動いている！

無理、無理
いつまでも
このままじゃ
ないよ



石は山(岩)が風雨や川の流れによって削られ、
小さくなったもの。さらに研磨され、いつしか
川岸や海の底に堆積し、再び大地になる。

どうやって
生まれたか
どうして
ここへきたか、
昔はどんな
姿をしていたか
どんな事件が
起こったのか
どんな
生きものの
かとか…

【火成岩】かせいがん
マグマが冷えて固まっ
てできた。固まる速
度によって模様が異
なる。

【堆積岩】たいせきがん
砂や泥が有機物とと
もに海底や湖に積も
り、圧縮されてきた
岩石。

【変成岩】へんせいがん
一度できた岩石に、高
温や高圧が加わり、鉱
物が再構成されたも
の。

石の形を楽しむ
Nature
Game

自然が先生！
ネイチャーゲームで体験しよう！

ジグソーストーン

川原や森で見つけた石が、遥か昔からこの地球を旅
している…そう思うと、小さな「石ころ」に畏敬の念
が湧いてきます。石を使ったネイチャーゲームで、内
なる地球に思いを馳せてみませんか。

- 【楽しみ方】
- ① 魚・ハート・星形など、分かりやすい図形を描いた
大きめの台紙を用意します。
 - ② 川原など石の多い場所に行き、気に入った石を集め
てきます。
 - ③ 集めた石をパズルのピースに見立て、台紙に書かれ
た図形の上に、できるだけ隙間ができないように置
いていきます。
 - ④ 図形が石で埋まったら、完成！



イラスト/井上みさお

ネイチャーゲームとは

1979年に米国のナチュラルリスト、
ジョセフ・コーネルにより発表され
た活動です。見る・聞く・触る・か
ぐなどの感覚をつかって、自然を楽し
み、自然と仲良くなるためのプロ
グラムです。



尾びれのところには、尖った
石を、口にあたるところは石
と石を重ねて…などピッタリ
くる石を探しました。

丸くて形のよい石を見つけ
て、迷わず中央に！こんな
にいるんな色や形の石があ
るなんて驚きです。

ホントに
でっかいから
見に来て!!

第26回
全国ネイチャーゲーム研究大会
in 北海道 2016

平成28年
6月3日~6月5日
(金) (日)
食べて、遊んで、学んで、
温泉でまったりの
2泊3日

北海道で ネイチャーゲーム しよう!!

申込み受付中!!
まずはご連絡ください。
折り返し詳しい参加要項をお送りします。

Tel.03-5363-6010
Fax.03-5363-6013
kenkyutaiikai@naturegame.or.jp

- ワークショップは6コース
- A イシカラ・ベツ(石狩)の
原生砂浜海岸の散策コース
 - B ユーバロ(夕張)石炭博物館見学と
ズリ山ウォークコース
 - C 北海道のクラフト・
メロンパンづくりコース
 - D トカブウシ(十勝)
十勝岳トレッキングコース
 - E フラヌイ(富良野)
ラフティング&食べ歩きコース
 - F ポンソウカムイコタン(深谷の美しい所)
でネイチャーゲーム三昧コース

ジョセフ・コーネルの
課外授業



「シェアリングネイチャーライフ」をひも解くコーナーです。ネイチャーゲームの創始者J・コーネルの講演録から未来に伝えていきたい言葉をピックアップしてご紹介します。

受動的でいよう

シェアリングネイチャーの6原則に「いつも受け身でいよう」というものがあります。これは、プログラムに入る前にいいたいことを準備せず、指導者自身が「その場の自然が語ることに耳を傾けよう」ということです。言いたいことを準備しているということに他なりません。

発信モードでいると、自然からのメッセージを受信できません。自然の声を聞き、自然から学ぼうとするなら、まずリーダーがオープンな気持ちでいましょう。よく知った場所でも、今その場の自然が何を発信しているのかに耳を傾けて。自然のなかでの体験は、まさにイキイキとしたもので、決して過去の体験に頼ったものではないはず。リーダーは参加者の鏡となるように、常に自然に対して謙虚に「受け身」でいることが大切なのです。

自然体験を終えた人がたくさんの情報を持って帰ってほしいわけではありません。自然との強い結びつきを感じてプログラムを終えてほしいのです。

同様のチラシも見てね!



前を向け。未来たち。

違いかけて来い。違い抜いて行け。若い君たちの可能性こそが未来だ。

スポーツは育てることができる。



toto・BIGの収益は、未来のメダリストの発掘・育成に役立てられています。

美術の授業で、自画像を描くというテーマを出すと、描けない子がいるんです。ツノが生えた顔を描いたり、鏡に映る自分の顔が見られなかったり…。へわしたしの木へを行うときに、自分の心臓の音を聴いてもらうんですが、それを嫌がる子もいます。生きていく証を実感するのが怖いんでしょうかね。

ぼくは、五感が磨かれると本質を見抜く力「直観」が育つと

「五感でひらく森の記憶」と題した油絵作品の制作前に、公園でへわたしの木へカメララゲイムへゴウモリとガをを行ったことがあります。制作途中で「プラネットアース」などの自然ドキュメンタリーの鑑賞もしました。すると、体感した多くのこととの相互作用で生徒一人ひとりの想像力がかき立てられ、素晴らしい作品を生み出しました。

〈サウンドマップ〉の室内バージョンとして、熱帯雨林に響く自然の音のCDを、目隠しをし



美術の授業で
ネイチャーゲーム!

埼玉県の彫刻家で
高等学校教師
大木 道雄さん

バーチャルな体験
だけでは
生まれたい作品がある

思っています。そして精神が研ぎすまされ、多様な命をリアルな質感をとらえて敏感に感じとれる人になれると思うんです。20年ほど前にネイチャーゲームリーダーの資格をとったとき、理科の先生から「なんで美術の教師がとるんだ」と不思議がられました。ぼくは「これは使える! 自然と平和を愛する人づくりに」と直観したんです。

「五感でひらく森の記憶」と題した油絵作品の制作前に、公園でへわたしの木へカメララゲイムへゴウモリとガを行ったことがあります。制作途中で「プラネットアース」などの自然ドキュメンタリーの鑑賞もしました。すると、体感した多くのこととの相互作用で生徒一人ひとりの想像力がかき立てられ、素晴らしい作品を生み出しました。

〈サウンドマップ〉の室内バージョンとして、熱帯雨林に響く自然の音のCDを、目隠しをし

て聞かせたこともあります。生徒たちは自然からインスピレーションを受け、のびのびと作品を制作します。自然のなかに隠されているものを感じ、独特な色彩でサンクチュアリを描いて美術展で特選をとった子もいました。このような作品は、バーチャルな体験のみでは、生まれたいと思いません。

五感を磨いて
高校生、覚醒!のき

イラスト/初澤久美 取材/佐々木香織

アンケートが
投稿しやすくなりました

アンケートに答えて
シェアリングネイチャー
グッズをゲットしよう

Present

応募締め切り:4月15日

アンケートは…

- ◆HPトップページから
<http://www.naturegame.or.jp/>
- ◆メール・FAXでも
sasaki@naturegame.or.jp
FAX 03-5363-6013

メール・FAXの場合は下記をご記入ください【アンケート項目】

1. お名前
2. ご住所(会員番号)
3. 本誌の評価(A.とても良い/B.良い/C.普通/D.良くない)
4. 良かったコーナー
5. プレゼント希望(①/②/③)
6. ご意見・ご要望

① イノッチファーム
直送便「オーガニック野菜」2名様
特集で取材をした神奈川県相模原の『イノッチファーム』の野菜詰め合わせセット。お届けは秋! どんな野菜が届くかお楽しみに。段ボール1箱分

② 『おいしい“つぶつぶ”穀物の知恵』『食べ物で見つけた進化のふしぎ』2冊セット 1名様
ゲッチョ先生こと盛口満さんのマニアックな視点に思わず唸る、魅力満載の2冊。大人も子どもも楽しめます。(少年写真新聞社/各1,944円)

③ 四角友里
色あわせカード 5名様
本誌連載中の四角さんとのコラボレーションで生まれたオリジナルカード。日本の伝統色紹介付き。ポストカードサイズ/春夏・秋冬の2種類を1セットで。(ネイチャーゲームクラブ/各324円)

おもしろい! 聞こえる!!

理科の先生には不思議がられるけど

ゲッチョ先生の世界にどっぷり漬かろう

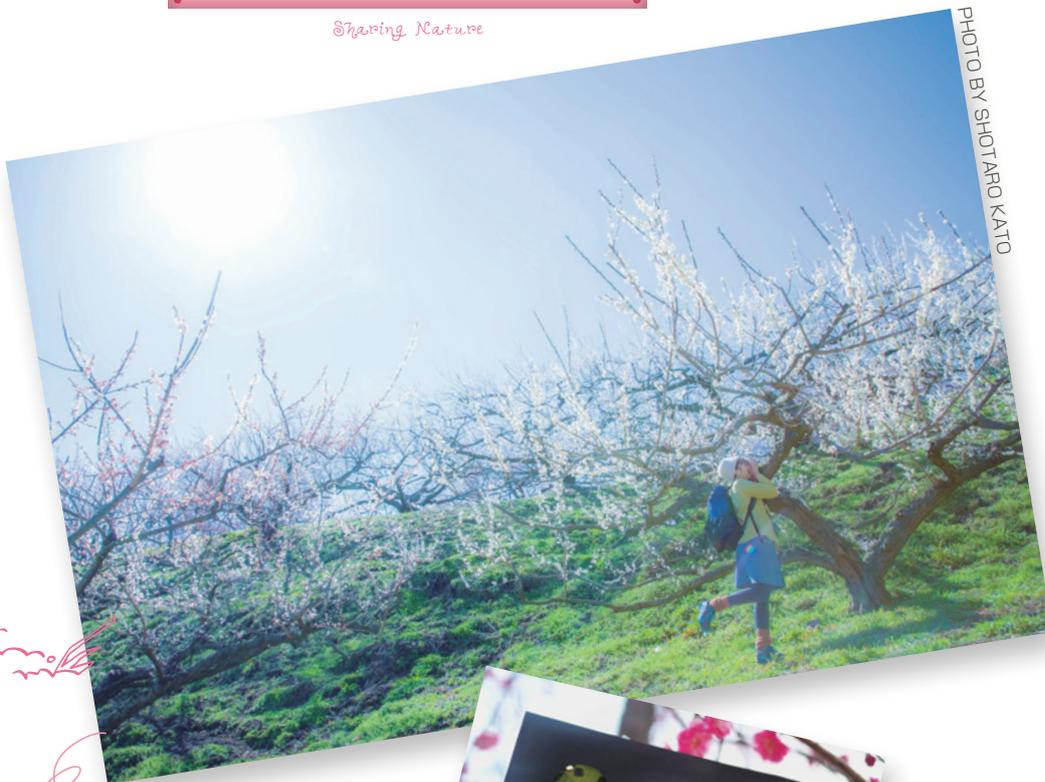
虫や動物の御墨付き! これぞ「イノッチファーム」の野菜!! 何が届くか、お楽しみ♡

ネイチャーゲームくまの国あわせ! 日本の伝統色で!

おもて面

うらな

春は
いのちの喜びが
うずうずと。



春咲く薫りや鳥の歌声に誘われて、
のんびりてくてく、お散歩へ。
春の光は、こころのなかにも
清らかなものを芽吹かせる。



花や空は「丸窓」に入れて
写真でパシャリ！

なんにもしない アウトドア

うらかな陽が大地を温め
 虫たちが蠢き出す。
 わたしの春をむかえる。支度は、
 彼らと同じよう、陽を感じることから。
 啓蟄のころから
 カーテンをあげたまま眠りにつく。
 すると朝は、キャンプをしたときのように
 まぶたの裏の色が徐々にかわり
 1日は目覚まし時計ではなく
 光の気配といつしよにはじまる。
 そとへ出掛ければ
 陽だまりは、こころの芯まで届いて。
 晴れた日に干したお布団みたいに
 わたしのなかにも
 お日さまのいい匂いが膨らんでゆく。
 春は動き出そうと準備している
 存在たちの「気」があちこちから立ちあがり
 このうずうずとした「喜びの和」に
 仲間入りしたくなる。
 お天道さまへまっすぐと
 歌い、芽吹く、みんなをお手本に。
 春はじつと待つより
 迎えにいくほうが、きつとたのしい。

Yuri Yosumi profile

白百合女子大学卒。執筆、講演、ウェア開発を通し、「大自然と自分らしいスタイルでつながりたい」というメッセージを発信。山スカートの先駆者、着物着付け師としての顔ももつ。現在、フリーペーパー「山歩みち」などで連載中。著書に『一歩ずつの山歩き入門』他がある。

My Book



『デイリーアウトドア』¥1,200+税
足もとの小さな花を見つめよう、芝生で裸足になってみよう…自然と仲良く暮らすヒントを綴ったエッセイ。

